



地域支援センターだより

地域支援センターやわた

今年度第1回目の「スキルアップ研修会」を実施しました。

畿央大学 教育学部 現代教育学科 教授
大久保賢一氏より「子どもたちの行動を理解し、ポジティブな行動を育むために～学校で役立つポジティブ行動支援～」という演題で御講演いただきました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、YouTubeLive を活用したオンライン形式で講演会を実施しました。7月28日（水）にライブ配信を行い、8月27日（金）まで、録画配信を見ていただけるよう、動画を公開いたしました。

保・幼、小、中、高等学校、特別支援学校の先生方、その他関係機関の職員の方、そして本校教職員を含めて120名以上の方々に参加いただき、200回を超える再生回数で視聴していただくことができました。



支援センターやわた 第1回スキルアップ研修会

講義では、行動をA（行動のきっかけ）B（行動）C（行動の結果）に分けて考えること、B（行動）がその後増えるか減るかには、行動の“後”の、C（行動の結果）が大きく影響を与えることを教えていただきました。問題行動を減らすために、「嫌な結果」を伴わせたり、「お楽しみ」を奪ったりするような罰的な対応もありますが、罰的な対応には、様々な問題点や副作用があるそうです。「アメとムチ」ではなく、「アメとアメなし」の視点で子どもたちのより適応的な行動を促していくという方法について学ぶことができました。

ご参加いただいた方からの感想（一部抜粋）

- 行動の原理に反した「してしまいがちな反応」として、ついやってしまいがちなことがあるなと気付かされました。できていることに対し褒めなかったり、次の課題を提示したり、一応褒めるが結局嫌味を言うなど、気を付けなければいけないなと思いました。（保・幼）
- 「子どもが問題行動を起こす理由・目的・メッセージをきちんと分析し、適切なバイパスを作ってあげること」を意識した支援をしていきたいと感じました。（高等学校）
- 今、目の前にある子どもの状態を肯定的に見ながら、スモールステップで◎を増やしていく。簡単ことではないですが、その考えを持ち続けることがとても大切だと思いました。（小学校）
- 子どもが自分に自信をもって、自分を肯定して生きていく力をつけること、「飴だらけの人生」を送れる力をつけてあげること、それを目指して、日々子どもと向き合っていきたいと思います。（特別支援学校）

今回は初の試みでオンラインでの開催となりました。「時間の都合の良いときに見ることができた。」「聞き逃したところを戻して見ることができ良かった」等のご意見を複数いただきました。本センターの今後の研修会のあり方の参考にさせていただきます。

次回第2回スキルアップ研修会は、梅花女子大学で教鞭をとられています伊丹昌一氏をお招きして「発達に課題のある子どもの理解と適切な支援（仮）」というタイトルで御講演いただく予定になっております。第2回もオンラインでの開催を予定しております。奮って御参加ください。